

2019 年度 事務事業評価(2018年度実施事業事後評価)シート / 2020 年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報										整理番号	079
事務事業名 施設維持管理費										補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単
担当部 都市建設部										担当課	下水道課
担当係										管理係	係
位置付けられている計画等										根拠法令及び市条例等	
<input type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略										<input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称: 常総市都市計画マスタープラン)	<input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称: 浄化槽法、水質汚濁防止法) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:) <input type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則 (名称:)

2 事務事業の目的			当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。		
現状課題	供用開始から15年以上経過している各水処理センターは、老朽化に伴い機械・電気設備の更新時期を向かえている。 (報恩寺水処理センター:平成6年供用開始、沖新田水処理センター:平成7年供用開始、大花羽水処理センター:平成9年供用開始、大生郷水処理センター:平成12年供用開始、五箇水処理センター:平成13年供用開始)	誰・何を対象に	農村部における生活環境の改善	どのような方法・手順で	各水処理センターの機能診断調査業務を実施し、その結果から補修・改築の対策工法と対策時期を検討する最適整備構想の策定をする。
望ましい状態	今後の施設の補修・改築等を計画的かつ効率的に取り組んでいくためのマスタープラン(最適整備構想)の策定を行い、それと同時に、複数の処理区の施設統廃合の検討も同様に図っていくことが望ましい。				

3 事務事業の主たる成果指標						数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく具体的に記入してください。								
指標名	ポンプ場正常稼働日数	単位	日	目標値	365	目標年次	年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	下水道は生活に欠かせない重要なライフラインのため、短時間の機能停止も許されない施設である。					

4 事務事業の実績 ㊦												当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。											
年度	2016年度						2017年度						2018年度										
	業務名						業務名						業務名										
	活動量						活動量						活動量										
	①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥					
	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫					
	目標値に対する実績値						目標値に対する実績値						目標値に対する実績値										
	365 日						365 日						365 日										
	計	83,859,430 円	内訳	特定財源	74,750,864 円	一般財源	9,108,566 円	計	93,815,217 円	内訳	特定財源	75,285,670 円	一般財源	18,529,547 円	計	94,982,856 円	内訳	特定財源	73,781,902 円	一般財源	21,200,954 円		
	(住民一人あたりの行政コスト)						1,379 円						(住民一人あたりの行政コスト)										
	1,583 円						1,552 円						1,583 円										

5 担当者評価 ㊧		実施したことによる成果や問題点を記入してください。	
成果	目標どおり	成果内容	予防修繕業務や検査・分析業務等の結果を維持管理委託業者等と共有化することで、より安定した水処理を継続して行うことができている。
問題点			今後は策定する最適整備構想に基づき、予防修繕等を実施しつつ維持管理の精度向上を図るとともに、更なる維持管理費の軽減を目指す。

6 担当部長及び担当課長評価 ㊨		担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。	
事務事業の方向性			
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止			
既存の施設設備・機器の適切な維持管理に努め、老朽化し運用に支障をきたす設備・機器の更新を計画的に実施し、処理場機能の正常運用と保全を継続させなければならない。			
運営コストや供用人口減に伴う運営費の減少など将来を見据えて、生活排水ベストプラン等による、施設の共同化・広域化・統廃合についても計画的に進める必要がある。			

7 実施計画 ㊩												今後3年間の事業内容について、どのようなことをどの程度実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の「歳出の計」と「歳入の計」は一致させてください。											
年度	2019年度						2020年度						2021年度										
	事業内容						事業内容						事業内容										
	<ul style="list-style-type: none"> ●修繕業務 五箇水処理センター流量調整ポンプ修繕(2台) 報恩寺水処理センター接触ばっ気槽ブローア修繕(2台) ●検査・分析業務 水質検査業務、汚泥肥料分析業務、浄化槽検査業務 ●委託業務 処理場維持管理委託業務、火災報知機等保守管理委託業務、警備委託業務、電気保安管理委託業務、汚泥処分委託業務、管渠清掃委託業務、処理場維持管理業務履行確認委託業務、検診委託業務、機能診断調査委託業務、環境整備委託業務 ●借上業務 機器借上業務 ●負担金補助及び交付金業務 地域資源循環技術センター負担金 県農業集落排水事業連絡協議会負担金 						<ul style="list-style-type: none"> ●修繕業務 大花羽水処理センター回分槽ブローア修繕(2台) 大生郷水処理センター回分槽ブローア修繕(2台) 大生郷水処理センター中継ポンプ場ポンプ修繕 五箇水処理センター回分槽ブローア修繕(2台) ●検査・分析業務 水質検査業務、汚泥肥料分析業務、浄化槽検査業務 ●委託業務 処理場維持管理委託業務、火災報知機等保守管理委託業務、警備委託業務、電気保安管理委託業務、汚泥処分委託業務、管渠清掃委託業務、処理場維持管理業務履行確認委託業務、検診委託業務、最適整備構想策定業務、環境整備委託業務、下水道台帳作成委託業務 ●借上業務 機器借上業務 ●負担金補助及び交付金業務 地域資源循環技術センター負担金 県農業集落排水事業連絡協議会負担金 						<ul style="list-style-type: none"> ●修繕業務 大花羽水処理センターNo.11中継ポンプ場2号ポンプ修繕 大花羽水処理センター自動微細目スクリーン修繕 報恩寺水処理センターNo.1上澄水排出装置修繕 報恩寺水処理センター自動微細目スクリーン修繕(2台) ●検査・分析業務 水質検査業務、汚泥肥料分析業務、浄化槽検査業務 ●委託業務 処理場維持管理委託業務、火災報知機等保守管理委託業務、警備委託業務、電気保安管理委託業務、汚泥処分委託業務、管渠清掃委託業務、処理場維持管理業務履行確認委託業務、検診委託業務、環境整備委託業務、下水道台帳作成委託業務 ●借上業務 機器借上業務 ●負担金補助及び交付金業務 地域資源循環技術センター負担金 県農業集落排水事業連絡協議会負担金 										
	目標値に対する実績値						目標値に対する実績値						目標値に対する実績値										
	365 日						365 日						365 日										
	計	83,859,430 円	内訳	特定財源	74,750,864 円	一般財源	9,108,566 円	計	93,815,217 円	内訳	特定財源	75,285,670 円	一般財源	18,529,547 円	計	94,982,856 円	内訳	特定財源	73,781,902 円	一般財源	21,200,954 円		
	(住民一人あたりの行政コスト)						1,379 円						(住民一人あたりの行政コスト)										
	1,583 円						1,552 円						1,583 円										

8 財務アドバイザーの見解		『常総市財政健全化計画』では、2017～2019年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は2020年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いことが期待される2019年度の一般財源予算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。	
---------------	--	---	--

9 行政改革懇談会(市民)の意見		担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。 生活環境の改善のため、生活排水ベストプラン等による施設の広域化、共同化、統廃合に努められたい。	
------------------	--	---	--

10 最終評価(行政改革推進本部) ㊪		事務事業の方向性 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
評価理由		経営成績や財政状況を把握し、処理場機能の正常運用と保全に努めること。	

11 事務事業の改善理由及び改善部分 ㊫												実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。											
成果指標	指標名	ポンプ場正常稼働日数	単位	日	目標値	365	指標名	ポンプ場正常稼働日数	単位	日	目標値	365	指標名	ポンプ場正常稼働日数	単位	日	目標値	365					
	予算額	歳出	計	100,213 千円				歳出	計	116,094 千円				歳出	計	114,594 千円							
			特定財源	77,945 千円					特定財源	76,740 千円					特定財源	71,740 千円							
		歳入	一般財源	22,268 千円				歳入	一般財源	39,354 千円				歳入	一般財源	42,854 千円							
	計	100,213 千円					計	116,094 千円					計	114,594 千円									

事業内容			
------	--	--	--